



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月5日

上場会社名 **株式会社 ニコン**

コード番号 7731

代表者 取締役社長 荻谷 道郎

問合せ先責任者 広報・IR部ゼネラルマネジャー 羽鳥 正之 TEL (03)3216-1032

上場取引所 東証一部・大証一部

(URL <http://www.nikon.co.jp/>)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	712,155	16.4	103,509	28.4	98,125	37.5	60,461	30.9
19年3月期第3四半期	611,599	14.1	80,598	67.4	71,380	91.0	46,202	93.7
19年3月期	822,813	—	102,006	—	89,551	—	54,824	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	151	39	145	15
19年3月期第3四半期	124	82	110	80
19年3月期	146	36	131	42

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	815,897	392,314	392,314	392,314	48.1	982	02	
19年3月期第3四半期	737,133	286,767	286,767	286,767	38.9	774	66	
19年3月期	748,939	348,444	348,444	348,444	46.5	871	67	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	33,740	△ 36,129	△ 36,129	△ 36,129	△ 19,287	△ 19,287	60,822	60,822
19年3月期第3四半期	50,464	△ 12,454	△ 12,454	△ 12,454	△ 19,964	△ 19,964	66,596	66,596
19年3月期	83,200	△ 21,898	△ 21,898	△ 21,898	△ 23,673	△ 23,673	83,848	83,848

## 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	970,000	17.9	133,000	30.4	121,000	35.1	74,000	35.0	185	28

## 3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

(注) 詳細は 4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、平成19年11月8日に公表の通期の業績予想は、本資料において修正しております。

詳細につきましては、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

精機事業では、半導体露光装置分野でA r F液浸スキャナーの国内外への出荷を本格的に開始したほか、スループットを大幅に向上させたi線ステッパーを市場投入しました。液晶露光装置分野では、液晶パネルメーカーの投資抑制の影響を受け、販売台数が大幅に減少しました。両事業を通じてコストダウン活動に努めましたが、これらの結果、前年同期比減収・減益となりました。

映像事業では、デジタル一眼レフカメラはフラッグシップ機である「D3」および「D300」からエントリー機の「D40」に至るまで、すべての機種種の販売が好調に推移しました。これに呼応した交換レンズの販売も好調であったほか、コンパクトデジタルカメラも「COOLPIX P5100」や「COOLPIX S510」など、今期市場投入した機種を中心に順調に売上げを伸ばしました。さらに、米ドル、ユーロの為替相場が円安傾向で推移した結果、前年同期比増収・増益となりました。

インストルメンツ事業では、バイオサイエンス分野はアジアを除く全地域で販売が軟調に推移し、産業機器分野も半導体検査装置は予定通り推移したものの、工業用顕微鏡などは市況回復の遅れにより販売が見込みを下回り、前年同期比減収・減益となりました。

これらの結果、当第3四半期までの売上高は7,121億55百万円、経常利益は981億25百万円、当期純利益は604億61百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は前連結会計年度末と比較して以下のとおりであります。

総資産は、669億58百万円増加した結果、8,158億97百万円となりました。これは主に売掛金及びびたな卸資産の増加によるものです。負債は、230億89百万円増加した結果、4,235億83百万円となりました。これは主に有利子負債の削減ならびに買掛金の増加によるものです。純資産は、438億69百万円増加し、3,923億14百万円となったことから、自己資本比率は48.1%となりました。

当第3四半期累計の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が高水準であったものの、売上債権の増加及び法人税等の支払いにより、337億40百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出により361億29百万円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還ならびに配当金の支払等が行われたため、192億87百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は608億22百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期は、映像事業においてデジタル一眼レフカメラならびに交換レンズが好調に推移し、コンパクトデジタルカメラの販売も順調に伸びました結果、計画を上回る実績となりました。この業績を踏まえ、平成19年11月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正しております。

なお、第4四半期の為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=155円を想定いたしております。

平成20年3月期の連結業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	948,000	127,000	115,000	70,000
今回修正予想 (B)	970,000	133,000	121,000	74,000
増減額 (B-A)	22,000	6,000	6,000	4,000
増減率 (%)	2.3	4.7	5.2	5.7

※ 個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）につきましては変更していません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金及び税金費用の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

##### **在外連結子会社等の外貨建の収益又は費用の本邦通貨への換算の方法**

在外連結子会社等の収益及び費用は、従来、在外連結子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当グループの在外連結子会社の生産・販売の重要性が増していること及び四半期の状況を的確に表すために、当連結会計年度より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。これによる損益に与える影響は、軽微であります。

##### **有形固定資産の減価償却の方法**

当社及び国内連結子会社は、平成19年度の法人税法の改正に伴い、当中間連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は、軽微であります。

##### **(追加情報)**

当社及び国内連結子会社は、平成19年度の法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。これによる損益に与える影響は、軽微であります。

## (1) 第3四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期末		当第3四半期末		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表		増 減
	(平成18年12月31日現在)		(平成19年12月31日現在)		(平成19年3月31日現在)		(△印減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
[資産の部]		%		%		%	
流 動 資 産	516,582	70.1	589,316	72.2	523,197	69.9	66,118
現金及び預金	66,619		63,407		83,871		△20,464
受取手形及び売掛金	152,684		213,304		148,914		64,389
たな卸資産	252,221		265,316		246,400		18,915
その他	48,367		50,877		47,082		3,794
貸倒引当金	△3,310		△3,589		△3,072		△517
固 定 資 産	220,551	29.9	226,581	27.8	225,741	30.1	840
有形固定資産	115,237	15.6	117,293	14.4	116,673	15.5	619
建物及び構築物	41,262		42,931		41,381		1,549
機械装置及び運搬具	39,310		38,266		39,169		△903
土地	15,930		15,878		15,964		△86
建設仮勘定	3,608		5,072		4,946		125
その他	15,126		15,144		15,210		△66
無形固定資産	13,664	1.9	20,472	2.5	13,995	1.9	6,476
ソフトウェア等	13,454		20,363		13,832		6,530
のれん	209		109		163		△54
投資その他の資産	91,649	12.4	88,815	10.9	95,071	12.7	△6,256
投資有価証券	83,574		78,892		85,421		△6,529
その他	8,170		10,018		9,746		272
貸倒引当金	△95		△95		△95		0
資 産 合 計	737,133	100.0	815,897	100.0	748,939	100.0	66,958

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期末		当第3四半期末		前連結会計年度末の 要約連結貸借対照表		増 減
	(平成18年12月31日現在)		(平成19年12月31日現在)		(平成19年3月31日現在)		(△印減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
[負債の部]		%		%		%	
流動負債	351,462	47.7	345,952	42.4	308,956	41.3	36,996
支払手形及び買掛金	146,179		177,999		145,911		32,087
短期借入金	24,923		20,378		17,456		2,922
一年内に償還期日の 到来する社債	62,798		15,000		20,000		△5,000
未払費用	42,606		52,198		47,711		4,487
未払法人税等	16,699		20,067		27,560		△7,493
製品保証引当金	6,769		7,419		7,655		△235
その他	51,485		52,888		42,660		10,228
固定負債	98,903	13.4	77,630	9.5	91,538	12.2	△13,907
社債	59,500		44,500		49,500		△5,000
長期借入金	18,837		15,774		18,369		△2,595
退職給付引当金	13,644		13,931		15,163		△1,231
役員退職慰労引当金	431		517		455		61
その他	6,489		2,907		8,048		△5,141
負債合計	450,366	61.1	423,583	51.9	400,494	53.5	23,089
[純資産の部]							
株主資本	262,829	35.7	373,670	45.8	322,588	43.1	51,081
資本金	38,262		64,675		64,675		—
資本剰余金	53,530		79,911		79,911		—
利益剰余金	171,892		230,462		179,019		51,443
自己株式	△855		△1,380		△1,018		△362
評価・換算差額等	23,746	3.2	18,518	2.3	25,578	3.4	△7,059
その他有価証券 評価差額金	20,672		14,168		22,104		△7,936
繰延ヘッジ損益	△266		△247		△198		△48
為替換算調整勘定	3,340		4,597		3,672		925
新株予約権	—	—	125	0.0	83	0.0	42
少数株主持分	191	0.0	—	—	194	0.0	△194
純資産合計	286,767	38.9	392,314	48.1	348,444	46.5	43,869
負債及び純資産合計	737,133	100.0	815,897	100.0	748,939	100.0	66,958

## (2) 第3四半期連結(要約)損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前第3四半期		当第3四半期		増 減	前連結会計年度の 要約連結損益計算書	
	自平成18年4月1日 至平成18年12月31日		自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		(△印減)	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
売 上 高	611,599	100.0	712,155	100.0	100,555	822,813	100.0
売 上 原 価	368,590	60.3	414,485	58.2	45,895	494,663	60.1
売 上 総 利 益	243,009	39.7	297,669	41.8	54,660	328,150	39.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	162,410	26.5	194,159	27.3	31,748	226,143	27.5
営 業 利 益	80,598	13.2	103,509	14.5	22,911	102,006	12.4
営 業 外 収 益	4,888	0.8	7,129	1.0	2,240	7,080	0.9
受 取 利 息	581		1,093		512	901	
受 取 配 当 金	706		1,198		491	822	
持分法による投資利益	1,261		919		△341	1,540	
その他の営業外収益	2,338		3,917		1,579	3,816	
営 業 外 費 用	14,106	2.3	12,513	1.7	△1,593	19,536	2.4
支 払 利 息	1,316		1,168		△148	1,632	
たな卸資産評価減	1,149		425		△724	1,747	
たな卸資産解体処分損	4,002		3,927		△75	6,997	
現金支払割戻金	3,087		3,497		409	3,840	
為 替 差 損	2,533		2,255		△278	2,800	
その他の営業外費用	2,015		1,239		△776	2,517	
経 常 利 益	71,380	11.7	98,125	13.8	26,745	89,551	10.9
特 別 利 益	797	0.1	1,711	0.2	913	916	0.1
固 定 資 産 売 却 益	797		127		△670	825	
投資有価証券売却益	—		1,583		1,583	23	
関係会社出資持分譲渡益	—		—		—	67	
特 別 損 失	592	0.1	3,015	0.4	2,423	2,654	0.3
固 定 資 産 除 却 損	587		415		△171	803	
固 定 資 産 売 却 損	5		26		21	3	
減 損 損 失	—		257		257	—	
投資有価証券売却損	—		34		34	—	
投資有価証券評価損	—		3		3	—	
事業再編に伴う損失	—		1,383		1,383	1,846	
環 境 対 策 費 用	—		894		894	—	
税金等調整前四半期(当期)純利益	71,585	11.7	96,820	13.6	25,235	87,812	10.7
法 人 税 等	25,373	4.1	36,359	5.1	10,985	32,975	4.0
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	0.0	—	—	△9	12	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	46,202	7.6	60,461	8.5	14,258	54,824	6.7